

令和7年4月3日

報道機関各位

青森県立美術館副館長

野坂徹夫ワークショップ
「パステルでえがくポエムの世界」を開催します

青森県立美術館では、野辺地町生まれの作家 野坂徹夫氏をお招きし、高校生以上を対象としたワークショップを下記のとおり開催しますので、取材・報道方よろしくお願いたします。

記

1 開催日時

令和7年4月5日（土）10:00～15:30（途中昼休憩あり）

2 会場

青森県立美術館 展示室及びワークショップA（地下1階）

3 講師

野坂 徹夫（のざか てつお）（当館コレクション展2024-2 出品作家）

4 対象者

高校生以上

5 開催日程

10:00～10:10 オリエンテーション（ワークショップA）

10:10～10:30 野坂徹夫氏によるギャラリートーク（展示室）

10:30～12:00 作品制作（ワークショップA）

（昼休憩 12:00～13:00）

13:00～15:00 作品制作（ワークショップA）

15:00～15:30 講評・鑑賞会（ワークショップA）

6 取材について

9時55分までに、県立美術館地下2階エレベーターホールにお集まりください。

報道機関用提出資料（連絡先）	
担当	青森県立美術館 美術企画課 教育普及担当 境谷、山内
電話番号	017-783-5240
所属長	青森県立美術館 副館長 工藤 泰正

野坂徹夫ワークショップ「パステルでえがくポエムの世界」

野坂徹夫氏の作品は繊細で精妙なグラデーションに彩られた静謐な色彩と、切り詰められた簡素な形態の表現により、詩情溢れ、みる人の心をその世界に引き込んでしまう魅力があります。

このたび、野坂徹夫氏をお招きし、言葉や音からイメージをひろげ、パステルを用いて色や形でポエムの世界をえがくワークショップを開催します。野坂徹夫氏はどのようにしてイメージから作品を作り上げるのか、詩情溢れる世界はどのようにして生まれるのか、その手がかりにふれることができます。

○講 師 野 坂 徹 夫 NOZAKA Tetsuo

〈講師略歴〉

- | | |
|-------|--|
| 1949年 | 青森県上北郡野辺地町に生まれる。 |
| 1973年 | 和光大学人文学部芸術学科卒業。 |
| 1979年 | 創作活動を開始。 |
| 1983年 | 青森市で子供の絵画教室、「童子工房」をはじめる（～2012）。 |
| 1984年 | バルセロナ「ホアン・ミロ国際デッサン・ドローイングコンクール」入選。 |
| 1988年 | 青森県芸術文化奨励賞受賞。 |
| 1995年 | スパチオアルテギャラリー個展（イタリア、ペルージャ） |
| 2003年 | 青森県立美術館開館プレ事業「キッズアートワールド2003」参加（むつ市） |
| 2008年 | ギャラリー椿個展（東京）、「水彩3人展（前田昌良・山中現と）」（ギャラリーゴトウ、東京） |
| 2009年 | 「コレクターによる野坂徹夫展」（ギャラリーゴトウ）
（アトリエブルックス個展（軽井沢）、ギャラリーアリア個展（岐阜市）） |
| 2010年 | ギャルリ夢心坊個展（市原市）、「音楽へのオマージュ展」（ギャラリーゴトウ）、
ギャラリーエリコーナ個展（いわき市） |
| 2011年 | ギャラリーゴトウ、八王子ギャラリーJACOMAN 個展（八王子）、
ギャラリーアリア個展（岐阜市） |
| 2012年 | 国際芸術センター青森館長就任（～2015）
ギャラリージ・アース個展（鎌倉）
東京オペラシティアートギャラリー収蔵品展「やさしさの気配」 |
| 2013年 | 「野坂徹夫展」（深浦町美術館）
「しずかな物語、二人展（山本実と）」（ギャラリーヴェルジェ、相模原市） |
| 2015年 | 東京オペラシティアートギャラリー収蔵品展「水につながる寺田コレクションの水彩画」 |
| 2016年 | アトリエOKA 個展（八戸市）、「野坂徹夫作品展」水の祈り（伊達市梁川美術館、福島） |
| 2017年 | 東京オペラシティアートギャラリー収蔵品展「静かなひとびと」 |
| 2018年 | ぎやらりえ Agha（相模原市）、ギャラリーNOVITA 個展（青森市） |
| 2019年 | ギャラリーゴトウ個展（東京）、ギャルリ夢心坊個展（市原市） |

○報道機関の集合場所

9時55分までに県立美術館地下2階エレベーターホールにお集まりください。

（オリエンテーションが行われる「ワークショップA」にご案内します）